



### 京浜港湾事務所

工事名 川崎港臨港道路東扇島水江町線東扇島アプローチ部橋梁下部工事

工期 令和元年11月22日 ～ 令和3年11月16日

施工会社 若築建設株式会社 横浜支店

工事内容 東扇島地区の現道と整備中の橋梁をつなぐ  
東扇島アプローチ部橋梁下部工の構築のため、  
橋脚を施工します。

#### ●本工事の施工記録



地中管調査  
令和2年 2月



地盤調査  
令和2年 2月

#### ●進捗状況・お知らせ

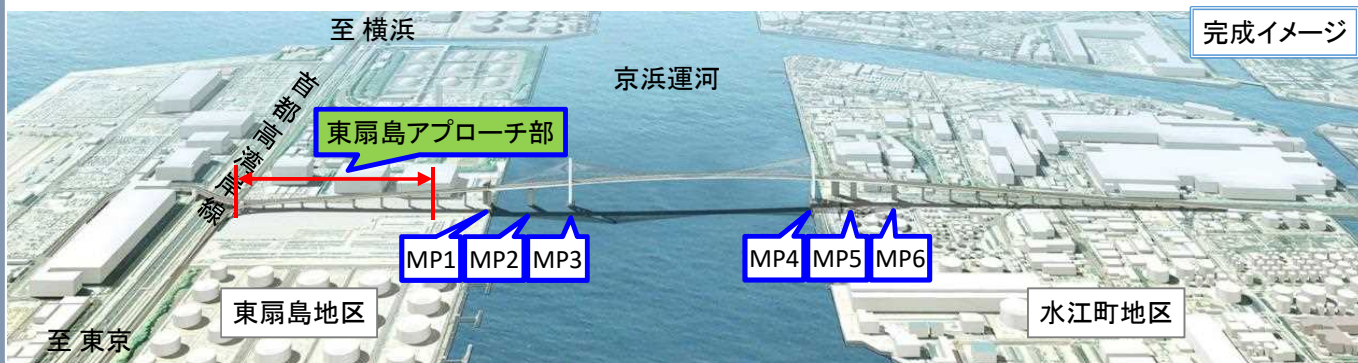
本体の工事着手前に仮設排水施設の整備と、地中の障害物撤去を行っています。  
障害物撤去後、杭打ちの工事を進めていきます。



### 川崎港東扇島～水江町地区 臨港道路整備事業



年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
測量・調査・設計(施工検討含む)															
用地取得調整・工作物移設															
関係者調整等(近接施工・上部工施工)															
施工															■ 本工事



完成イメージ

## 川崎港臨港道路東扇島水江町線東扇島アプローチ部橋梁下部工事

## 施工状況

準備工

支障物  
撤去工

基礎工

仮設工

土工  
掘削構造物  
構築土工  
埋戻し

完成

支障物撤去 – 既設構造物撤去状況

地面に杭を打ち込んで、橋を作ります。

杭を打ち込む時に固いものが土の中に残っていると杭を打ち込む事が出来ないので、土の中のコンクリートなどを取り除き処分しました。

支障物撤去工 – 松杭撤去

コンクリートなどを取り除いた土の中から松杭（木製の杭）が出てきました。土の中の松杭は残しておく機械がひかかり、故障の原因になるので、大型機械でまわりの土を切取って、中の杭を引抜きました。

支障物撤去工 – 松杭撤去

引抜いた松杭は直径が20センチ程度で長さが9メートル程度ありました。今回の工事現場からは170本もの杭が土の中に残っていました。

仮設工 – 仮設排水工

今回の工事では地面に残っている物を撤去する必要があります。残っているものの中に、雨水などを流す管も含まれているため、撤去する前に代わりの管を設置します。大雨が降っても雨水が流れる様に40センチの管を地面の中に設置しました。